

## 第7回協議会（勉強会）の概要

### 1 日時

平成24年10月23日（火）16:35～17:00

### 2 出席者

- 平田 静太郎 委員長
- 藤岡 庄司 委員長職務代理
- 松村 佳子 委員
- 花山 院弘 委員
- 佐藤 進 委員
- 富岡 将人 教育長

### 3 第7回テーマ

「家庭の教育力の向上」について

### 4 協議内容

- 事務局から、子どもたちの課題や家庭教育をめぐる環境、家庭の教育力の向上を目指した県の施策として、「おやこで花マル！プロジェクト調査事業」、「夏休みノーテレビ・ノーゲームデーチャレンジ事業」、「『おはよう・おやすみ・おてつだい』約束運動」などについての報告があった。特に、4年目となる約束運動について実施したアンケートの結果から、あいさつが家庭の中に定着してきていることや、お手伝いについては、保護者が「子どもに積極的にお手伝いをさせるようになった。」という回答や「子どもがお手伝いを自分からしたがるようになった。」との回答が大幅に増え、保護者や子どもの意識に変化が見られたことなど説明があった。
- 委員から、実施している事業の対象年齢についての質疑があり、事務局が、3～5歳児、小学校1年生と3年生を対象としているが、対象年齢を広げて今後も取り組んでいきたいという旨や、将来親になる世代の中・高校生を対象とした取組も必要であると回答した。これに対して、委員から、「小さい頃から、基本的な生活習慣や規範意識の芽生えを育てていくことが大事である。」「幼稚園・保育所から小学校へつなげていくことが大事である。」との意見のほか、「あいさつやお手伝いについては、年間を通じて家庭での働きかけを粘り強く続けていく必要がある。」との意見が出された。
- 委員から、本テーマと奈良県地域教育力サミットの関連についての質疑があり、教育長が、サミットの中でも、家庭でのコミュニケーションの充実を図ることが大切であるとの共通理解のもとで議論を進めており、子どもたちの課題を解決する上で重要なテーマであると回答した。
- 家庭の教育力の向上を目指した今後の事業の方向性については、次回協議会において議論を深めることになった。

## 第8回協議会（勉強会）の概要

- 1 日時  
平成24年11月15日（木）15:20～16:30
- 2 出席者  
○平田静太郎委員長  
○藤岡庄司委員長職務代理  
○松村佳子委員  
○花山院弘匡委員  
○富岡将人教育長
- 3 第8回テーマ  
「家庭の教育力の向上」について
- 4 協議内容
  - 事務局から、前回協議会の資料に加えて、親の「学び」のニーズについてのアンケート結果から、74.4%の保護者が子育てに不安や疑問があることや、「子育てに関する学習機会への参加を希望する。」と回答した保護者が71.5%であり、親の育ちを応援する「学び」の機会を充実させていくことが必要であるとの説明があった。  
また、委員長からは、11月12日に開催された近畿2府4県教育委員協議会で「家庭の教育力の向上」をテーマに議論した内容についての報告があった。
  - 上記のアンケート結果を受けて、委員からは、「親が子育てに悩みや不安をもつことは当然のことである。」、「講演会に参加する保護者やアンケートに回答してくれる保護者は心配はないが、参加したくても家庭事情で参加できない人や反応のない人が心配。実際は、そのような人をどのように巻き込んで、サポートしていくかが課題である。」、「ひとり親家庭への支援やケアをどのように進めていくかも考えていかなければならない。」などの意見が出された。加えて、これまで本県が実施してきた事業については、「一定の成果を上げており、今後も継続的に取り組んでもらいたい。」との意見が出された。  
これに対して、事務局からは、今後も施策を一層推進していくこと、家庭教育の二極化や家庭教育が困難な状況の中で子育てが行われていることを踏まえ、保護者のニーズに応じた事業の実施が急務であるとの回答があった。  
また、家庭の教育力について考える上で、対象となる親の世代の考え方や価値観を理解しておくことが大事なのではないかとの意見が出され、「子どもの成長」と「親の育ち」を共に支援する方向で事業を進めていくことを共通理解した。

- 委員から、「子どもをいろいろな大人に関わらせること。」、「親や教員だけでなく、多様な人と関わる中で、社会性は育つのであって、育てる場を多くすることが大事である。」との意見が出された。また、「地域の活動が年々減少していることから、学校が核となって子どもと地域を結びつけていくのがよいと思う。」との意見が出された。

これに対して、教育長が、学校を核とした地域コミュニティづくりについては、現在、モデルケースとして進めている地域教育力推進モデル校における学校コミュニティ部がその役割を担っていること、また、この取組は、全国においても同様の方向で進められていることを説明した。

さらに、奈良県地域教育力サミットのもとに4つの部会を設置し、教育委員会だけでなく知事部局とも連携して、地域コミュニティの再構築を目指していると説明した。

委員からは、「地域教育力サミット」において、地域を小学校区と定義し、地域の機能的な役割について議論されていることや、子どもと地域を結びつけるモデル校の取組が進んでいることは大変意義があるとの肯定的な意見が出された。

- 次回は1月31日（木）で、テーマについては、1月10日（木）に開催される第15回定例教育委員会で決定することになった。